

災害用備蓄物資（災害用マンホールトイレ上屋）仕様書

1 総則

本仕様書は、京都市が災害用備蓄物資として購入する災害用マンホールトイレの上屋（上屋テント及び便座）について定めたものである。

2 担当者等

京都市行財政局防災危機管理室（０７５－２２２－３２１０）

河野、氏家

3 納期

令和８年１２月１日（火）から令和９年２月２６日（金）までの本市が指定した時期とする。

4 数量

災害用マンホールトイレ（洋式タイプ便座） ４１基

上屋テント（Ｌタイプ） １４基

上屋テント（Ｍタイプ） ２７基

5 納入場所

本市が指定する京都市内の倉庫（３箇所ほどの予定、詳細は契約決定後提示する。）

6 仕様

（１） 災害用マンホールトイレ（洋式タイプ便座）

ア 組立時寸法

高さについては、脚先部分のプッシュボタンにより座面の高さを２．５ｃｍごとに４段階に調整可能であること。

（ア） 本体

幅６７ｃｍ×奥行５２ｃｍ×高さ７９ｃｍ～８６．５ｃｍであること

（イ） 便座高さ

４０ｃｍ～４７．５ｃｍであること

（ウ） 手すり内幅

５４ｃｍ程度（±１ｃｍ以内）であること

（エ） 手すり高さ

最小が５８ｃｍ程度（±１ｃｍ以内）であること

イ 重量

10. 3kg程度(±1kg以内)であること

ウ 材質

(ア) 背もたれ・便座

ポリエチレン

(イ) フレーム

アルミ合金(シルバー粉体塗装)

(ウ) プレート(マンホールカバー)

スチール(シルバー粉体塗装)

(エ) 手すり握り部分

発泡ゴム

(オ) ビニルスリーブ

PVC

エ 仕様

下記の各位部位についての要件を満たすとともに、フレーム、便座、プレート(マンホールカバー)の3つの部品で構成され、付属の工具のみで簡単に組立可能な洋式タイプのマンホールトイレであること。

なお、足元は段差のないバリアフリー構造となっており、災害用マンホール口(角蓋縦48cm、横27cm)及び内部の開口孔(直径20cm、深さ15cm)に対応するものとする。

(ア) フレーム

- ・ 折りたたみ式の構造であること。
- ・ 手すりの握り部分に発泡ゴムが設けられていること。
- ・ 着座時の後方転倒防止及び座位の保持を助ける背もたれが設けられていること。
- ・ トイレットペーパーを固定できるペーパーホルダーを付けることのできる構造であること。

(イ) 便座

- ・ 跳ね上げ可能なポリエチレン製O型便座であること。
- ・ 汚物をマンホール内に落とし込む「スリーブ」が設けられていること。
- ・ スリーブを付属の汚物処理袋用ネットに付け替えることで、市販の便袋等を備え付けることが可能であること。

(ウ) プレート（マンホールカバー）

- ・ フレーム固定用のソケット4箇所が設けられていること。
- ・ 固定の際に使用するペグ用とコンクリート釘用の打込み穴が4隅に各1箇所ずつ、合計4箇所あること。
- ・ 本市が設置している災害用マンホール口（角蓋縦48cm、横27cm）及び内部の開口孔（直径20cm、深さ15cm）に、ズレ等が生じないように、マンホール口に対応した位置決め孔とボルトが付いていること。

(エ) 付属品

汚物処理袋用ネット、PPペグ（×4本）、簡易ハンマー、コンクリート釘（×4本）、位置決め用ボルト（×3本）、ペーパーホルダー、トイレットペーパー、六角レンチ、板スパナ（×2本）

設置時に地面とのガタツキを解消するスポンジゴム（×3枚）。スポンジゴムの大きさは10cm×10cm×厚み1cmとする。

(オ) 取扱説明書

取扱説明書はラミネート加工を行うこと。

オ 梱包材

(ア) 梱包サイズ

内寸800×200×700（H）mm

※付属品を含め収納できるようにすること。

(イ) 材質及び構造

プラスチック製段ボールとし、材質はポリプロピレン、板厚5mm、ピッチ5mm、目付1000gとする。形状はオーバーラップ型とする。

(ウ) 色

色はグレー色とする

(2) 上屋テント（Lタイプ）

ア 組立時寸法

幅260cm×奥行185cm×高さ207cm程度（±1cm以内）であること。

イ 重量

7.5kg程度（±1kg以内）であること。

ウ 材質

(ア) テント生地（上部）

ポリエステル150デニール相当であり、PU防水加工が施されていること。
また、色は採光しやすいようアイボリーを基調としたものであること。

(イ) テント生地（側面）

ポリエステル150デニール相当であり、色は青色を基調としたものであること。

また、内側に透け防止のため、シルバーコーティング加工が施されていること。

(ロ) フレーム

スチール（白色粉体塗装）を用いており、フレームパイプは頑丈でしなりが発生しないようφ19mm程度（±1mm以内）であること。

エ 仕様

(ア) 下記の要件を満たすとともに、付属の工具のみで簡単に組立可能な上屋テントであること。

- ・ フレームはパイプ差込み式であり、簡単に組立てができる構造であること。
- ・ 入口は、内側・外側両面から開閉可能なファスナー構造であるとともに、持ち手部分を内側に収納できる構造であること。
- ・ 使用状態が明確にわかるよう「使用中」と記載した赤色の表示窓が設けられていること。
- ・ テント側面に換気用のメッシュ窓が2箇所以上設けられていること。
- ・ 小物入れが2つ以上、軽量のタオル等を掛けられるようハンガーロープが2箇所以上設けられていること。
- ・ テントの軒部分に支線取り付け用ループが4箇所、下部にペグ打込み用ループが7箇所以上設けられていること。

(イ) 付属品

予備トイレトペーパー入れ（4巻以上保管できるもの）、簡易ハンマー、スチールペグ（（19cm）×7本）、自在付ロープ（（3.6m）×4本）、生地収納袋、フレームパイプ収納袋、土のう袋（（約48×62cm）×4袋）

オ 梱包

(ア) 梱包サイズ

内寸1100×280×150（H）mm（Lタイプ）

※付属品を含め収納できるようにすること。

(イ) 材質及び構造

プラスチック製段ボールとし、材質はポリプロピレン、板厚5mm、ピッチ5mm、目付1000gとする。形状はオーバーフラップ型とする。

(ロ) 色

色はグレー色とする。

(3) 上屋テント (Mタイプ)

ア 組立時寸法

幅 1 2 0 c m × 奥行 1 2 0 c m × 高さ 2 0 0 c m 程度 (± 1 c m 以内) であること。

イ 重量

6 . 0 k g 程度 (± 1 k g 以内) であること。

ウ 材質

(ア) テント生地 (上部)

ポリエステル 1 5 0 デニール相当であり、P U 防水加工が施されていること。

また、色は採光しやすいようアイボリーを基調としたものであること。

(イ) テント生地 (側面)

ポリエステル 1 5 0 デニール相当であり、色は青色を基調としたものであること。

また、内側に透け防止のため、シルバーコーティング加工が施されていること。

(ウ) フレーム

スチール (白色粉体塗装) を用いており、フレームパイプは頑丈でしなりが発生しないよう φ 1 9 m m 程度 (± 1 m m 以内) であること。

エ 仕様

(ア) 下記の要件を満たすとともに、付属の工具のみで簡単に組立可能な上屋テントであること。

- ・ フレームはパイプ差込み式であり、簡単に組立てができる構造であること。
- ・ 入口は、内側・外側両面から開閉可能なファスナー構造であるとともに、持ち手部分を内側に収納できる構造であること。
- ・ 使用状態が明確にわかるよう「使用中」と記載した赤色の表示窓が設けられていること。
- ・ テント背面に換気用のメッシュ窓が 1 箇所設けられていること。
- ・ 小物入れが 2 つ以上、軽量のタオル等を掛けられるようハンガーロープが 2 箇所以上設けられていること。
- ・ テントの軒部分に支線取り付け用ループが 4 箇所、下部にペグ打込み用ループが 4 箇所以上設けられていること。

(イ) 付属品

予備トイレットペーパー入れ (4 巻以上保管できるもの)、簡易ハンマー、スチールペグ ((1 9 c m) × 4 本)、自在付ロープ ((3 . 6 m) × 4 本)、生地収納袋、フレームパイプ収納袋、土のう袋 ((約 4 8 × 6 2 c m) × 4 袋)

オ 梱包

(ア) 梱包サイズ

内寸 950×200×170 (H) mm (Mタイプ)

※附属品を含め収納できるようにすること。

(イ) 材質及び構造

プラスチック製段ボールとし、材質はポリプロピレン、板厚 5 mm、ピッチ 5 mm、目付 1000 g とする。形状はオーバーフラップ型とする。

(ウ) 色

色はグレー色とする。

(4) 表示

上屋テント、便座及び梱包箱に、丸ゴシック体で以下のとおり表示すること。

また、表示を行う際には、雨風や日光による劣化等を防ぐことができるよう措置を施すこと。なお、詳細な表示方法等については、本市職員と協議のうえ決定すること。

ア 災害用マンホールトイレ (洋式タイプ便座)

(ア) 背もたれの背面に、印刷又はシール貼付等により別紙のとおり記載すること。

(イ) 番号、文字の色、その他表示の細部については、本市職員の指示に従うこと。

イ 上屋テント

(ア) 原則として上屋テントの背面に、印刷により別紙のとおり記載すること。

なお、印刷位置、印刷方法等については、別途本市職員と協議のうえ決定するものとする。

(イ) 番号、文字の色、その他表示の細部については、本市職員の指示に従うこと。

ウ 梱包箱

(ア) 梱包箱の側面 (床接地面を除く 3 面) に、印刷又はシール貼付等により別紙のとおり記載すること。シールの場合、白コート厚み 50 ミクロンでラミネート加工とする。

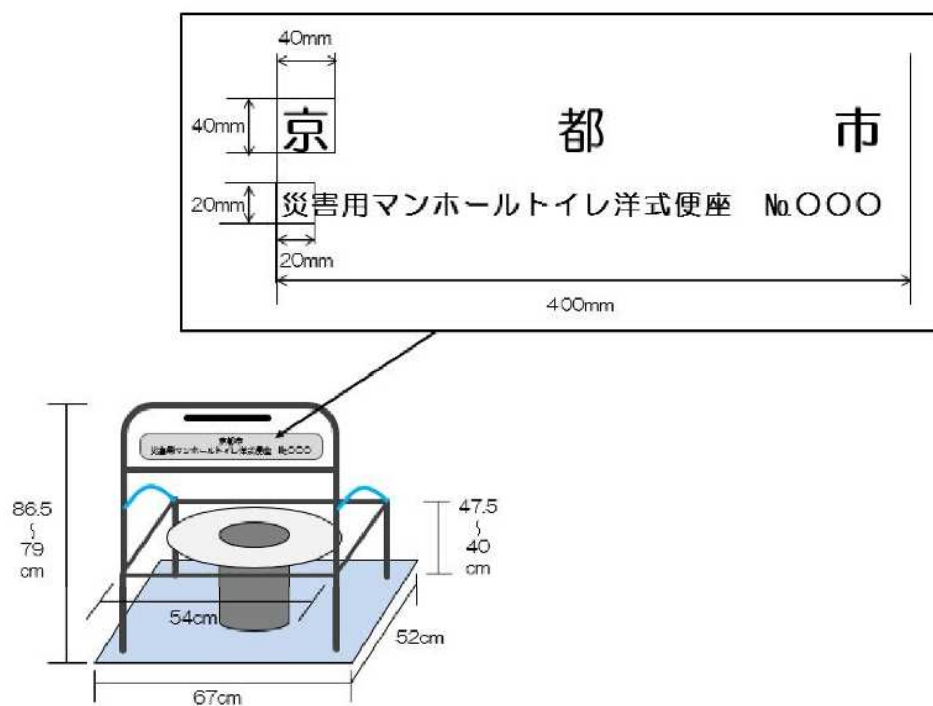
(イ) 「No.」以下に記載する番号については、災害用マンホールトイレ (洋式タイプ便座) 及び上屋テントに記載した番号と同一とすること。

(ウ) 文字の色、その他表示の細部については、本市職員の指示に従うこと。

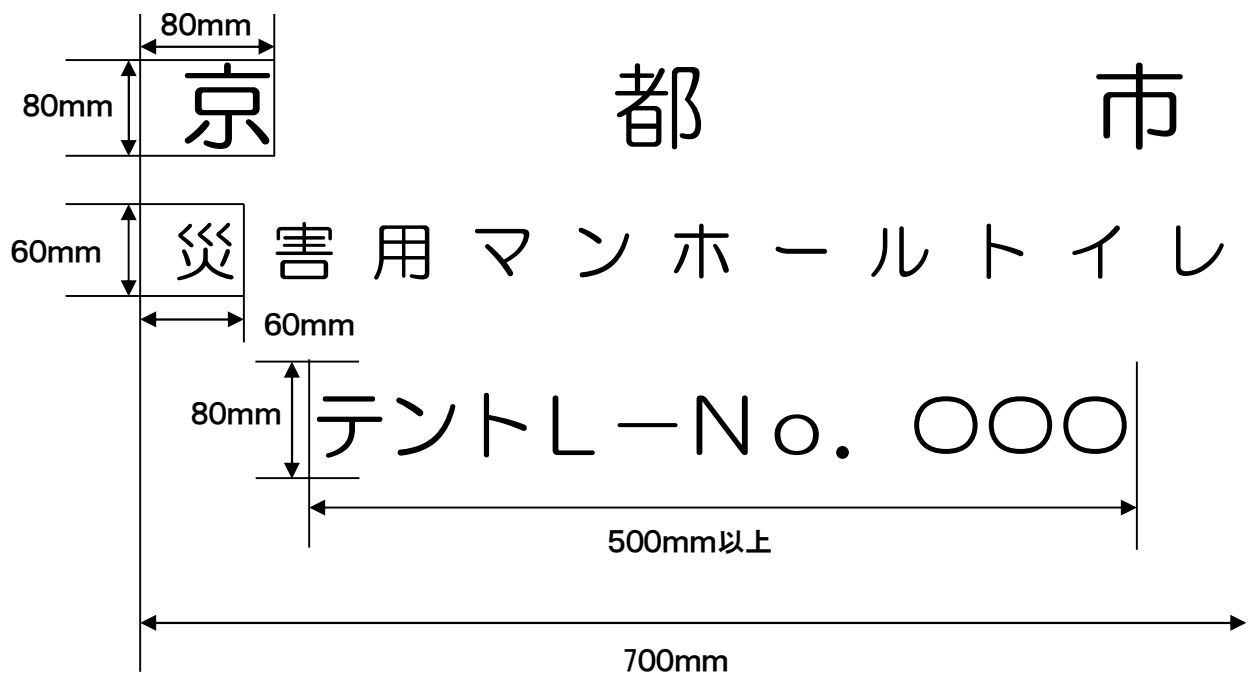
7 その他

- (1) 災害用マンホールトイレ(洋式タイプ)及び上屋テントについては、東日本大震災、平成28年熊本地震又は令和6年能登半島地震において、使用実績があること。
- (2) 災害用マンホールトイレ(洋式タイプ)と上屋テントについては、販売元会社が同じ会社であること。
- (3) 受注者は、契約後速やかに本市職員と仕様の詳細についての協議を行うこと。
- (4) 本仕様書に定めがない事項及び不明な点は、本市職員と協議のうえ定めるものとする。

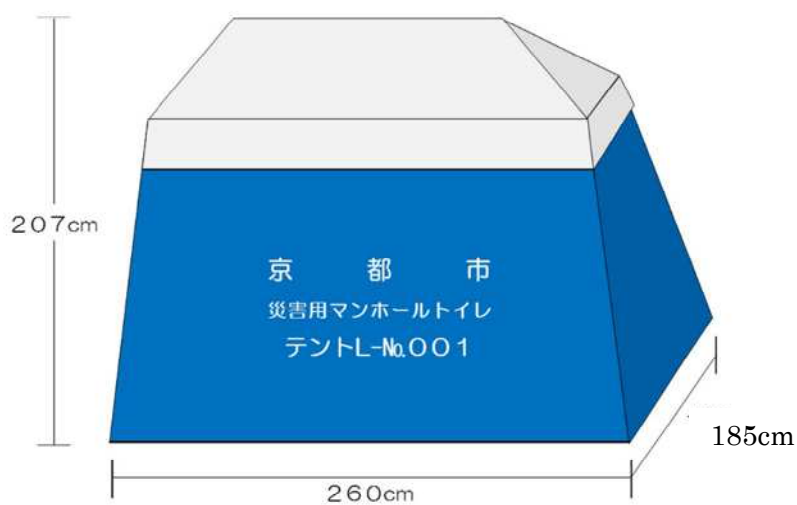
1 災害用マンホールトイレ（洋式タイプ）への表示イメージ（数値は参考値）



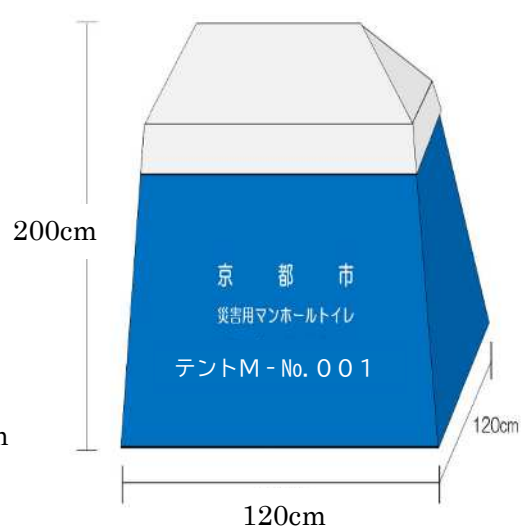
2 上屋テントの表示イメージ（数値は参考値）



※ 上記イメージは、上屋テント（Lタイプ）の場合。上屋テント（Mタイプ）については、表示を「テントM-No. 〇〇〇」とすること



上屋テント（Lタイプ）



上屋テント（Mタイプ）

3 梱包箱への表示イメージ（数値は参考値）

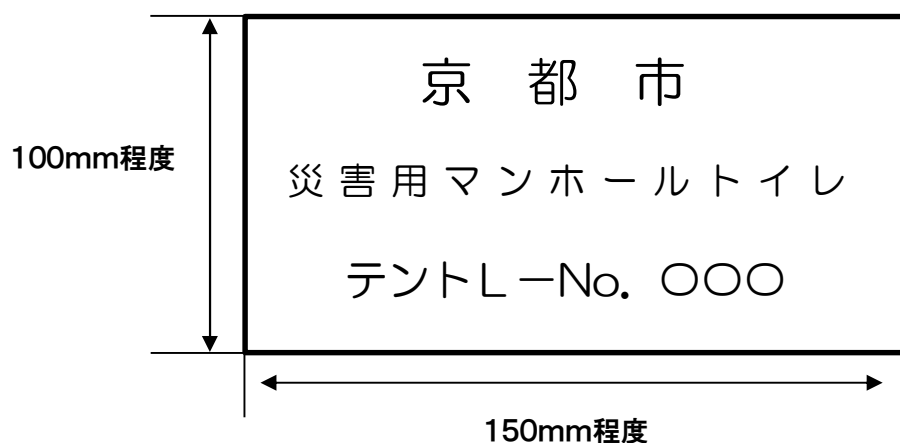
(1) 災害用マンホールトイレ（洋式タイプ便座）用梱包箱



(2) 上屋テント用梱包箱



(上記のサイズのラベルが貼れない面)



※ 上記イメージは、上屋テント（Lタイプ）の場合。上屋テント（Mタイプ）については、表示を「テントMーNo. 000」とすること